



建第120号  
平成19年5月9日

国土交通省道路局長 殿

魚津市長 澤 崎 義 敬



中期的な計画の作成にあたっての意見依頼について

平成19年4月2日国道企第114号で依頼がありました標記の件について、  
別添のとおり提出します。

事務担当：魚津市建設部建設課  
業務係 紙 尾  
TEL0765-23-1028  
FAX0765-23-1169

## 道路整備の中期的な計画の作成にあたっての意見

魚津市

本市の広域幹線道路は、北陸自動車道、国道8号及び新川広域農道があり、幹線道路としては、主要地方道5路線、一般県道14路線がある。

道路体系は、地理的条件から東西方向に対して南北方向が不足しており、広域連絡道の整備が必要である。

生活基盤を支える市道の延長は約395kmあり、改良率74.2%、舗装率93.1%となっている。地域交流間の拡大などにもない、増加する交通量に対応した道路整備を進めるとともに、子どもや高齢者など人にやさしい歩道の設置や、克雪対策に充分配慮した道路網整備を行う必要がある。また、冬期間の交通確保については消・流雪施設の整備や除排雪体制の強化とともに、歩道除雪の充実を図り、交通安全対策を促進させる必要がある。

### 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

#### (1) 幹線道路網の整備について

国道8号入善黒部バイパスなどの広域幹線道路の整備は、県東部新川地区の今後の発展には欠かせない道路であり、北陸新幹線新黒部駅（仮称）へのアクセスとして当市域をはじめ未整備区間の一日も早い供用開始を実現してほしい。

#### (2) 防災・減災について

当市では3つの漁村が密集市街地となっているが、火災が発生すると10戸単位で消失する恐れがある。このような密集市街地では、若者が密集を嫌い郊外に出て行くことから、高齢化が進む要因となっている。

また、高齢化が進んでいる地区では道路が狭いこともあり、防災、救急医療などの観点から致命的となっている。密集市街地では、下水道整備を行うにしても住宅改造、建て替えが必要となることから、土地区画整理事業などによる計画的なまちづくりを進める必要がある。

### (3) 交通安全施設などの整備・充実について

通学路、交通危険箇所を中心に交通安全施設の整備や歩道の整備、反射材、視線誘導票、呼びかけ看板など誰もが安全・安心してらせる交通環境づくりをしていく必要がある。

## 2 効率化を徹底的に進める上で特に重視すべきこと

### (1) 景観を良くし、文化を生み出し、環境を守るについて

当市は蜃気楼が見える「しんきろうロード」として緩傾斜護岸とあわせて非常によい道路となっているが、道路沿いにビューポイントとなるポケットパークが必要である。

また、北陸新幹線の開通により、2時間程度と東京都市圏から「しんきろう」を見るために魚津市へ訪れることが可能となることから、ライブカメラなどにより「しんきろう情報」を駅などで情報発信することも考えられるが、道路情報を利用することはできないか。

道整備交付金は、農道、林道など一体なって整備できる仕組みと聞いているが、今後、地球環境保全対策としては、「林道の整備」が重要であると考えている。

特に県東部の山間部は豪雪地帯でもあることから、林道整備が立ち遅れており、間伐した木さえ運ぶことができない。一般道路と一体となった道路整備を省庁横断的に取り組んでいただきたい。

また、「里山」への道路整備が不十分なため、若者の林業離れに拍車がかかっており、高齢化が進む要因となっている。「里山」に人が居なくなれば、林業環境が悪化し、CO<sub>2</sub>削減はできない。民有林といえども、道路が整備できる法的な整備が必要である。

## 3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

### (1) ネットワーク整備の戦略について

人口の少ない地域においても交通サービスの確保は必要。

特に市町村合併が進めば進むほど、小さな社会単位において、生活しているものが不便でない道路のネットワークが必要。

### (2) 道路特定財源について

道路特定財源は必要であるとともに、道路整備計画は地方の実情を十分考慮した道路整備が必要である。

(3) 道路整備の中期的ビジョン等について

具体的な道路に関する要望

- ① 国道8号入善黒部バイパスは、産業・経済・観光の振興に寄与する県東部における重要な幹線道路であり、また、北陸新幹線新黒部駅(仮称)へのアクセス道路ともなることから、新幹線開業までに全線を供用して欲しい。
- ② 同様の新幹線新駅や周辺地区に立地してきている企業のアクセス道路となる、県道宇奈月大沢野線(青柳～片貝川架橋～大海寺野地内)の整備をして欲しい。
- ③ 国道8号から海岸地域に向かう南北に走る道路が少ないため、(蜷気楼)など観光振興を図る観点からは是非、道路整備をお願いしたい。
- ④ 市街地部の交通安全対策として、県道三箇吉島線(吉島交差点～労災病院前)や杳掛魚津線(吉島地内)、石垣魚津インター線の歩道新設整備を促進して欲しい。

**中期ビジョンや各県毎の課題に関する意見**

富山県の道路行政は、西高東低と言われ久しいが、道路ネットワーク、社会づくりの観点から将来を見据えた道路整備について、県と市が一体となって計画を進めるべきである。